

研究領域名	ユーラシア地域大国の比較研究
領域代表者名	田畑 伸一郎 (北海道大学・スラブ研究センター・教授)
領域代表者からの応募総額	6億7718万円
研究期間	平成20年度～24年度

ロシア、中国、インドから世界秩序を読み解く

1. 本領域の目的

- ①ロシア、中国、インドなどのユーラシアの地域大国を総合的に比較することにより、それぞれの地域大国の理解をさらに深める。これら諸国が地域大国として発展・定着できる条件が何であるのか、それを妨げるような不安定要因は何であるのかを明らかにする。
- ②超大国とその他の国々の間に、地域大国という「中間項」を挿入することによって、世界を理解するうえでの新たな視座を確立し、その視座から現代世界の様々な問題について検討する。

2. 本領域の内容

人文・社会科学の諸分野においてユーラシア地域大国の比較を行う。そのために、国際関係、政治、経済、歴史、社会、文化の6つの視点からの計画研究を設け、それぞれの計画研究に、ロシア、中国、インドなどについての研究者を配置する。

民族紛争、宗教対立、格差と貧困などの学際的な研究は、複数の計画研究による共同研究として遂行する。

3. 期待される成果

ロシア、中国、インドがユーラシアあるいは世界においてどのような位置を占めるようになるのか、これらの地域大国が世界に対してどのような新しいモデルを提示することができるのか、さらには、どのような世界秩序が今後形成されるのかなどについての学術的解明が期待される。

〔キーワード〕

- ・ユーラシア：アジアとヨーロッパの大陸の総称。
- ・地域大国：ある程度の経済力・軍事力を有し、近隣諸国への影響力を発揮しながら、同時に、米国、EU、日本など、政治、経済、文化などの面で現代世界の中核となっている国々に対して、一定の距離を置く諸国。

【科学研究費補助金審査部会における所見】

本研究領域は、現在の世界において、政治面では米国一極秩序やEU主導の国際秩序への挑戦者という立場に立ち、経済面では「BRICs」を構成するという重要な位置にある、ロシア、中国、インドを「地域大国」という新たな視点でとらえ、関連する個々の研究課題を比較の視座のもとで有機的に結びつけ、「地域大国」の総合的な理解を期するものである。

この目標を達成するために、本研究領域では、国際秩序、政治、経済、歴史、文化の諸分野を網羅した計画研究が予定されており、個別の地域研究において実績のある専門家が、「地域大国」という共通の視角で協働する体制が各計画研究に保証されている。また、公募研究は、複数の計画研究にまたがる具体的なテーマにもとづいた共同研究の促進が企図されており、計画研究と公募研究とが研究領域全体の主旨である比較の視座のもとで有機的に連携し、「地域大国」という体系的な分析概念の確立に寄与するものと評価する。

ユーラシア地域大国の比較研究

ロシア, 中国, インドから世界秩序を読み解く

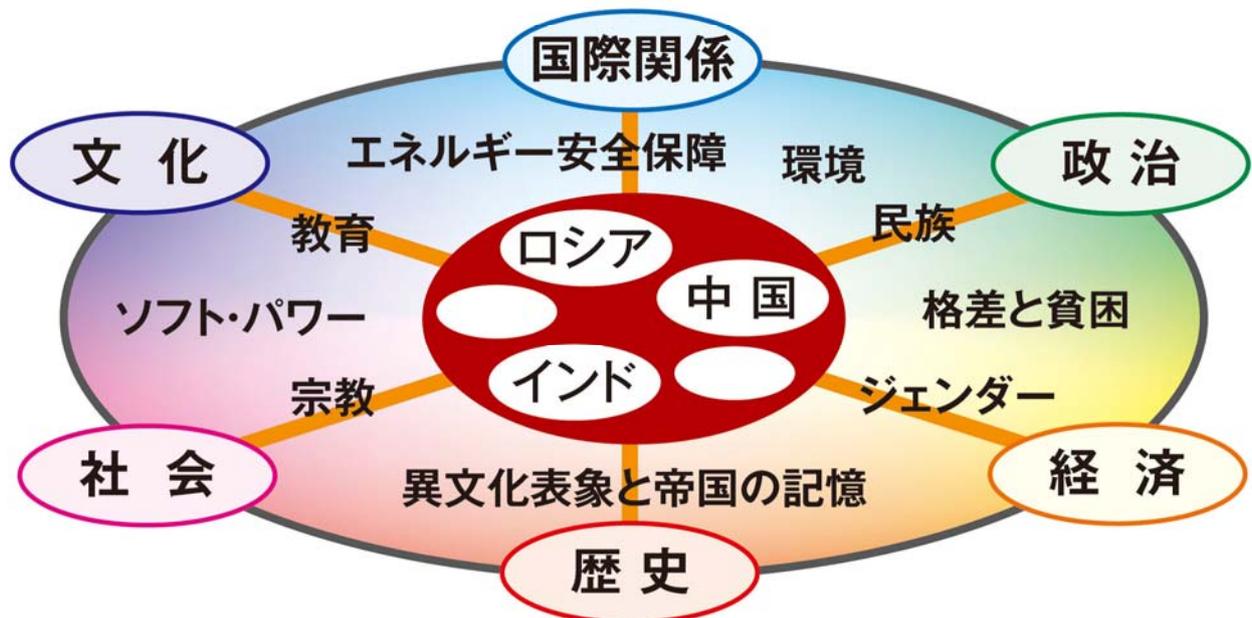
「地域大国」とは



現代世界の様々な問題を理解するための新たな視座

? 発展・定着できる条件, 阻害要因

ユーラシア地域大国を
6つの視点から比較研究



期待される学術的解明

地域大国は世界で **どのような位置を占めるようになるのか?**
どのような新しいモデルを提示できるのか?

どのような世界秩序が今後形成されるのか?